コートジボワール国月報（２０１６年９月）

|  |
| --- |
| 主な出来事【内政】●８日、コフィ保健・公衆衛生大臣は、１日付でエボラ出血熱の感染流行対策にかかるすべての制限措置の解除を発表した。●２４日、新憲法作成のための専門家委員会がウワタラ大統領に新憲法草案を提出した。【外政】●１６－１７日、モントリールで開催された世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）第５次増資会合で、コートジボワールは２０１７－２０１９年の３年間での１００万ドルの拠出を表明した。●２０日、ウワタラ大統領はニューヨークで開催された第７１回国連総会に参加した。●２１日、ウワタラ大統領は第７１回国連総会のマージンで、米・アフリカ・ビジネス・フォーラムに参加し、コートジボワールへの投資機会について説明した。【経済】●７日、閣議で２０１６年の修正予算案が承認され、本年予算は６兆１６５８億ＣＦＡフラン（約１兆２，３００億円）となった。●１４日、コネ経済・財政担当大臣は世銀によるインフラプロジェクト（ＰＲＣＩ）への追加融資（１億２６００万ドル）、及び運輸セクター近代化支援計画（４５００万ドル）の２つの協定に署名した。●１５－１６日、国家マルチセクター栄養計画（ＰＮＭＮ）２０１６－２０２０への資金動員のためのラウンドテーブルが開催され、ドナーから４０１８億ＣＦＡフラン（約８００億円）の支援が表明された。●２８日、閣議で６兆５０１４億ＣＦＡフラン（約１兆３０００億円）の２０１７年予算案が承認された。２０１６年当初予算案と比較すると１１．８％の増加。 |

【内政】

・５日、ウワタラ大統領は、オリンピック・リオ大会でのメダル獲得選手、選手、コーチらを大統領府に招き表彰した。男子テコンドー８０キロ級で金メダルを獲得したシセ・シェイック・サラと、同じく女子６７キロ級で銅メダルを獲得したバグビ・ルトゥは、邸宅１軒に加えそれぞれ５，０００万ＣＦＡフラン（約１，０００万円）、３，０００万ＣＦＡフラン（約６００万円）を授与された。（フラテルニテ・マタン紙ほか）

・５日、マンベ第８回フランコフォニー競技大会担当大統領付大臣（アビジャン市長）は、ダンカン首相出席のもと、２０１７年７月にアビジャンで開催の同大会に先立ち、選手村建設の起工式を開催した。同選手村は、８０カ国から約４，０００名の選手を受け入れる。（フラテルニテ・マタン紙ほか）

・８日、コフィ保健・公衆衛生大臣は、１日付でエボラ出血熱の感染流行対策にかかるすべての制限措置の解除を発表した。本決定は、ギニア、リベリアでのヒト同士の感染の終息を受けたもので、これにより、２カ国との国境閉鎖、野生動物の消費に関する禁止等が解除される。（フラテルニテ・マタン紙ほか）

・２４日、新憲法作成のための専門家委員会がウワタラ大統領に新憲法草案を提出した。（フラテルニテ・マタン紙ほか）

・２８日の閣議で、ウワタラ大統領が１０月５日の国民議会第二通常会での公式宣言において、新憲法草案を発表することが決定された。副大統領職の設置（当館注：副大統領は、大統領選挙時に大統領候補と一緒に選挙戦を行い、大統領と同時に選出されることが想定されている）について尋ねられると、コネ報道官は、暫定的措置があることを認めた。（フラテルニテ・マタン紙ほか）

【外政】

・１３日、ウワタラ大統領夫人は、コートジボワール訪問中のマハマ・ガーナ大統領夫人と共に、児童労働及び人身売買対策に関する共同宣言に署名した。ウワタラ大統領夫人は、カカオ豆生産の盛んなコートジボワール及びガーナは、児童労働の事例に直面していると述べ、両国政府の間で近い将来本件にかかる協力協定が締結されることを望むと述べた。ウワタラ大統領夫人は、児童の人身売買、搾取、労働対策に関する行動監視国家委員会の委員長を務めている。（フラテルニテ・マタン紙ほか）

・１４日、ウワタラ大統領は、アビジャンでムベレ・ブベヤ・ガボン内務・地方分権・安全・公共衛生大臣と会談した。ムベレ・ブベヤ大臣は、アリ・ボンゴ・ガボン大統領からウワタラ大統領への団結と一体性のメッセージを伝えると共に、コートジボワール人によるガボン大統領選挙への介入に関し、これらの者は個人的な利益のために介入したのであり、ウワタラ大統領は、大統領府から派遣された者との誤解を招かないよう、これらの者の解任を決定したと述べた。（フラテルニテ・マタン紙）

・１４日、オバマ米大統領は、コートジボワール政治危機の責任を問われているバグボ前大統領、ブレ・グデ元愛国青年代表等に対する一連の制裁の解除を発表した。２０１５年の大統領選挙の平穏裡の実施、武器不正取引対策の進展等を評価したもの。（ランテール紙ほか）

・１６－１７日、ウワタラ大統領はモントリールで開催された世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）第５次増資会合に参加した。同会合で、コートジボワールは２０１７－２０１９年の３年間での１００万ドルの拠出を表明した。（フラテルニテ・マタン紙ほか）

・２０日、ウワタラ大統領はニューヨークで開催された第７１回国連総会に参加した。（フラテルニテ・マタン紙ほか）

・２１日、第７１回国連総会に出席中のウワタラ大統領は、同会合のマージンで、米・アフリカ・ビジネス・フォーラムに参加し、コートジボワールへの投資機会について説明した。（フラテルニテ・マタン紙ほか）

・２２日、ウワタラ大統領は第７１回国連総会での演説において、２０１８－２０１９年を任期とする安保理非常任理事国選挙へのコートジボワールの立候補につき言及し、同立候補はＥＣＯＷＡＳとＡＵの支持を得ていると述べた。（フラテルニテ・マタン紙ほか）

・２２日、ウワタラ大統領夫人はＩＬＯ主催の児童労働に関するハイレベルの討議に参加し、同分野でのコートジボワールの取り組みについて説明した。また、同夫人は若年層の性の問題を扱ったハイレベル会合にも参加した。（フラテルニテ・マタン紙ほか）

・２６日、ウワタラ大統領はアリ・ボンゴ・ガボン大統領の再選に対し祝福の電報を発出した。ウワタラ大統領はベディエＰＤＣＩ党首と相談し、アリ・ボンゴ大統領の就任式へのハイレベル代表団の派遣を決定した。（フラテルニテ・マタン紙ほか）

【経済】

・６日、中国大使館主催のイベントにて、タン大使はウワタラ大統領夫人に対し、同夫人が代表を務めるアフリカ子ども基金へ２０００万ＣＦＡフラン（約４００万円）を寄贈した。（フラテルニテ・マタン紙）

・７日、閣議で、２０１６年の修正予算案が承認された。３，５２５億ＣＦＡフラン（約７００億円）の増加により、２０１６年予算は６兆１６５８億ＣＦＡフラン（約１兆２，３００億円）となる。（フラテルニテ・マタン紙、ル・ヌーヴォー・レヴェイユ紙、ノール・シュッド・コティディエン紙、ル・パトリオット紙）

・１４日、コネ経済・財政担当大臣とラポルト世銀当地所長は、インフラ・プロジェクト（ＰＲＣＩ）への追加融資（１億２，６００万ドル）及び運輸セクター近代化支援計画（４，５００万ドル）の２つの協定に署名した。（フラテルニテ・マタン紙、ル・ヌーヴォー・レヴェイユ紙）

・１５－１６日、国家マルチセクター栄養計画（ＰＮＭＮ）２０１６－２０２０への資金動員のためのラウンドテーブルが開催された。コフィ保健・公衆衛生大臣によると、ドナーから４，０１８億ＣＦＡフラン（内訳：支出済３，１７４億ＣＦＡフラン、新規動員８４４億ＣＦＡフラン）（約８００億円）の支援が表明された。（フラテルニテ・マタン紙）

・２０日、韓国大使館は開発協力に関するセミナーを開催し、リ大使、韓国国際協力団（ＫＯＩＣＡ）、コートジボワール各省庁代表等が意見交換を行った。（フラテルニテ・マタン紙）

・２８日、閣議で６兆５，０１４億ＣＦＡフラン（約１兆３，０００億円）の２０１７年予算案が承認された。２０１６年当初予算案と比較すると１１．８％の増加。貧困対策に２兆２，１６０億ＣＦＡフラン（約４，４００億円）が配分されている。（フラテルニテ・マタン紙、ル・ヌーヴォー・レヴェイユ紙、ランテール紙、ル・パトリオット紙）

・同２８日の閣議で、１０月から始まる２０１６－２０１７期のカカオ豆の最低買取り価格を１キロあたり１１００ＣＦＡフラン（約２２０円）とすることが決定された。２０１５－２０１６期の生産高は天候不安等の影響で前年比１２．５９％減であった。（フラテルニテ・マタン紙、ル・ヌーヴォー・レヴェイユ紙、ランテール紙、ル・パトリオット紙）

・２９日、ブル産業・鉱山大臣は、インド企業ＳＨＩＬＯＨマンガン社との間で、北部コロゴ及びディコドゥグのマンガン鉱山採掘に関するコンセッション契約を結んだ。埋蔵量は４００万トン、採掘可能期間は１２年と推定される。同社は２０１７－２０１８年に１００億ＣＦＡフラン（約２０億円）の投資を予定している。（フラテルニテ・マタン紙）

・同２９日、ランテール紙はタン中国大使の以下のような概要のインタビューを掲載した。

「中・コ両国は良好な関係にあり、歴史的にも最良の状態だといえる。両国の要人往来も活発である。文化会館改修、アビジャン～グランバッサム高速道路、スブレ水力発電ダム、飲料水供給、アビジャン港拡張、国内電力網の開発及び補修、省庁改修等、完了案件・実施中案件含め大規模な案件が行われている。（中国製品は質が悪いとの評判について聞かれ、）中国製品は品質の高低を含め幅広い選択肢を提供している。中国は成長を続けており、その経済力は注目に値すると自負している。コートジボワールにおける和解の進展を評価する。また、選挙後の危機を経て現在進行中の問題に関しては、コートジボワールの内政問題であるのでコメントは控える。」（ランテール紙）